八峰町６月議会定例会

町長の行政報告をお知らせします

八峰町６月議会定例会が15日から17日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。
町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

全町一斉清掃

春の全町一斉清掃が４月10日に行われ、早朝から多数の町民の皆様が参加してくださいました。

八森地区においては町内の側溝の泥上げや漂着ごみ等地域周辺の清掃を、峰浜地区においては、一部実施日を変更して対応いただいた自治会等もありましたが、地域の道路脇に捨てられている缶・ビン・ペットボトルなどを拾い集め、指定場所に運搬していただきました。

集められたごみは、可燃ごみが約８６０キログラム、不燃ごみが約９４７キログラムで、令和３年度に比べると可燃ごみでは約３２０キログラム減少しましたが、不燃ごみで約32キログラム増加しました。全体では約２８８キログラムの減少となっておりますが、ごみの中には、家電リサイクルの対象である冷蔵庫や洗濯機やテレビのほか、大量のタイヤなどの不法に投棄されたと思われる廃棄物などもあり、引き続きマナーの向上や不法投棄防止の啓発を実施してまいります。

一斉清掃に参加してくださいました町民の皆様に感謝申し上げますとともに、７月９日に計画しております八森地区海岸清掃にも町民多数のご協力をお願いいたします。

令和４年春の叙勲について

５月９日、八峰町消防団団長を務められた本多健さんが、峰浜村および合併後の八峰町の消防団員として、通算43年の長きにわたる消防団活動の功績が認められ「瑞宝双光章」を受章されました。皆様にもご報告申し上げますとともに、心より敬意とお祝いを申し上げます。

八峰町地域おこし協力隊

５月23日に農業推進コンシェルジュを担当する地域おこし協力隊の面接試験を行い、横浜市在住の山田勝さんと菜々子さん夫妻を内定しました。委嘱日については調整中ですが、農業振興に関する活動や情報収集・発信、県外在住就農希望者の定住・移住の相談業務など、本町では初めて農業分野での地域おこし協力隊として活躍していただくこととしております。

また、５月24日には、ファガスにおいて定住・移住コンシェルジュとして活動している吉田真己さんの令和３年度活動報告会を開催しました。当日は、議員の皆様や役場職員などの参加のもと、昨年７月に委嘱されてからの活動内容について、ＳＮＳアカウントの開設、町内の仕事に関する取材や各行事への参加や取材、オンラインで開催した移住相談会などの情報発信をはじめ、ふるさとＣＭ大賞や転入者向けパンフレットの制作などを報告しました。今後の活躍を期待しているところです。

二ツ森山開き安全祈願祭 町道白神二ツ森線開通

５月27日、ぶなっこランドを会場に「白神山地八峰町ルート安全祈願祭」が、ＮＰＯ法人八峰町観光協会の主催で行われました。

例年、安全祈願祭と併せて、町主催による「自然観察会二ツ森登山」を実施しておりましたが、今年も「新型コロナウイルス」への感染防止の観点から取りやめるとともに、安全祈願祭についても、関係者のみで神事を執り行うなど規模を縮小して開催され、１年間の山での無事故と無災害をお祈りいたしました。

二ツ森登山ルートのアクセス道路である「町道白神二ツ森線」の除雪作業は、４月20日に開始しました。今冬の大雪により、積雪量は例年の２倍以上となっておりましたが、作業は順調に行われ、５月17日に終了しております。

その後、路面等の清掃と点検作業に続き、登山口トイレの開放と登山道の安全確認を行い、今シーズンの登山客の受け入れ体制は無事完了いたしました。

白神山地への入山者はコロナ禍により減少しておりますが、観光客はじめ町を訪れる方々に対して世界自然遺産「白神山地」の価値を伝えながら、白神観光の推進を図っていくことが重要でありますので、地元のガイド団体等を始め関係機関とも連携しながら、入山者の安全と白神山地の環境保全に努めてまいります。

６月議会定例会に提出した主な議案

- 八峰町高齢者コミュニティセンター条例を廃止する条例制定について
- 八峰町サケふ化場条例を廃止する条例制定について
- 令和４年度八峰町一般会計補正予算
  ３億１４８万６千円を増額
  追加した主な歳出
  人事異動に伴う人件費の組み換え、当初予算を骨格予算としたことに伴う肉付け予算の追加など
- 令和４年度各特別会計補正予算
  ・八峰町国民健康保険事業
  １１０万５千円を増額
  ・八峰町営診療所
  26万３千円を増額
- 令和４年度各事業会計補正予算
  ・八峰町簡易水道事業
  １１４万７千円を減額
  ・八峰町下水道事業
  69万千円を増額

めてまいります。

ハタハタの里観光事業株式会社 令和３年度の経営状況について

八森いさりび温泉ハタハタ館は、開業29年目を迎え、八峰町の観光、保養の拠点施設として地域振興に大きな役割を果たしてまいりました。

令和３年度の経営につきましては、令和２年３月に策定した「経営改善計画」を基本とした「販売費および一般管理費」の削減に努めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大や燃油価格の高騰が大きく影響したことにより、１，４５６万２千円の赤字を計上する結果となりました。

全体の売上高は、１億３，９８４万３千円と前年比１，２１１万８千円の増収となりましたが、コロナ禍前の令和元年度よりは約４，４００万円の減収となっています。

部門別では、宿泊部門が秋田県や町の宿泊助成制度を活用した様々な特別宿泊プランの企画・実践などにより、宿泊施設開設以来の大きな増収となったものの、宴会仕出し部門やレストラン部門、売店部門においては、「人の流れ」がストップしたことによる観光バス立ち寄りの激減や、１年を通じて「会食の自粛」が続いたことにより、売り上げが大きく減少しております。

また入浴者数は、能代保健所管内でコロナ陽性者が毎日のように確認されたことなどにより、前期比１，４４２人減の７万３，１５３人となりました。

一般管理費につきましては、退職者の不補充等により人件費をギリギリまで抑えてまいりましたが、燃油価格や原材料費の高騰が大きく影響し、特に灯油代が前年比３６８万３，７４６円増加の１，０３６万７，０９０円となり、経営を圧迫する一因となっております。

今回の赤字で、ハタハタの里観光事業株式会社として、初めて累積赤字額が資本金を５１２万８，６０９円上回る債務超過となりました。また、５月30日に開催された株主総会では、監査役から異例といえる第29期監査付帯意見が提出され、将来的に資金ショートに陥る危険性が指摘されております。

町といたしましては、「売り上げを伸ばす」更なる努力の実践および経営改善計画の着実な実行による経費節減を求めるとともに、ハタハタ館存続に向けた緊急的な支援や、指定管理料の見直しを検討してまいりたいと考えています。

御所の台エリア再構築構想について

町ではこれまで、御所の台エリアの活性化についての意見交換会や、実際に道の駅を移転することを前提とした「道の駅はちもり移転に向けた懇談会」を実施してまいりました。

昨年実施した懇談会では、トイレ等の設備に関した要望、温泉を活用した足湯の設置、ハタハタ館や産直ぶりこ等周辺施設との連携や観光ルートの可能性など、様々なご意見やご提案をいただきました。

そこで今年度においては、「道の駅はちもりの御所の台エリア移転」を契機として、ハタハタ館やあきた白神体験センター、産直ぶりこ、オートキャンプ場、ふれあいパークを有効的に連携・活用し、エリア全体の再構築を図りながら、町全体の観光や商工業の振興に繋げたいと考え、「御所の台エリア再構築構想」を策定することといたしました。

構想では、これまで頂戴したご意見を踏まえながら、民間事業者から広く優れた提案を募集したいと考えています。